

シリーズ
そうだったんだね
“文化財”

今も残る戦争遺跡
北多摩陸軍
通信所跡

てきました。市文化財保護審議会の答申を受け、本年9月10日付で「武蔵野鉄道引き込み線跡」と「北多摩陸軍通信所跡」が東久留米市の旧跡に指定されました。

の東京陸軍少年通信学校跡地が旧跡に、東大和市の旧日立航空機立川工場変電所が史跡として文化財に指定されています。

東久留米市でもこれまでの戦争関連資料の調査を行っ

詳しくは生涯学習課文化財係 ☎472・0051へ。

近年、戦争の惨禍を後世に伝えるために、戦争に関する遺跡の調査や資料の収集が注目されるようになり、さらに戦争遺跡の文化財指定も行われるようになり、近隣では東村山市

昨年7月まで、小金井街道の東久留米市と小平市との境に「通信住宅」という名のバス停がありました。なぜ、通信住宅と呼ばれていたのでしょうか。

その答えは、昔そこに陸軍の通信所があったからなのです。

昭和8年（1933）3月、電波状況の良好な久留米村前沢1470番地（現在前沢五丁目）に海外無線

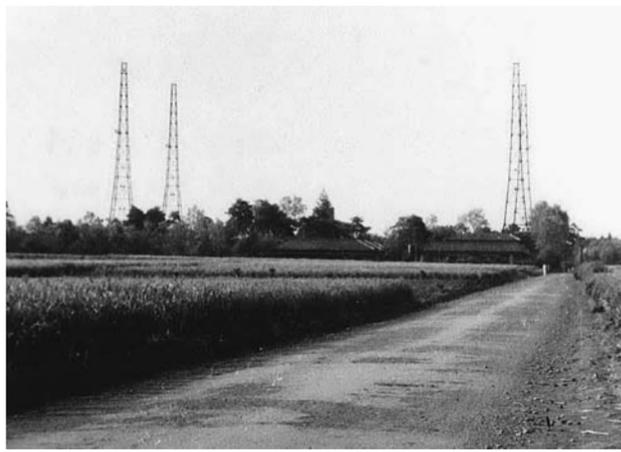
の傍受を目的とする「北多摩陸軍通信所」が開設されました。全施設の竣工は同年10月ですが、当初は約5000㎡の敷地（現小平市花小金井四丁目）にまたが

（公式記録では7回）、戦争の影響を大きく受けた地域だったのです。

岡田委員を偲ぶ… 当市の文化財保護審議会前会長である岡田芳朗氏が、昨年10月21日にご逝去されました。

小・中学校全校で統一メニューの給食を食べました

おひらき時間 パート1



←空から見た通信所施設（昭和22年米軍撮影・国土地理院）



←写真は北多摩陸軍通信所（昭和22年鍋島哲氏撮影）。道路は現在の小金井街道です。

た、吉村昭著『大本営が震えた日』昭和43年刊』などの歴史小説にも取り上げられて、その存在が紹介されています。当時の久留米村には、村の北東端の神山（現上の



←写真上は児童と談笑する並木市長。写真下は当日の給食（右が煮いだんご）

平成26年8月、市教育委員会では、市の教育行政の基本となる「東久留米市教育振興基本計画」を策定しました。平成18年に教育基本法が改正され、国に教育振興基本計画の策定を義務付け、地方公共団体には地域の実情に合った同計画を策定することが努力義務となったため、これまで検討を重ねてきました。

市教育振興基本計画では教育目標に示した「自ら学び、知を創造する人間」等の四つの人間像の実現を目指し、5年間の計画期間で、市の総合的な教育振興を図る内容となっています。また、年度ごとに事業計画を策定しています。

計画は市のホームページ、教育部総務課（市役所6階等）でご覧いただけます。詳しくは同課 ☎470・7775へ。

中学生の職場体験「日誌」

毎年、市立中学校の2年生が「キャリア教育」の一環として、三日間の職場体験を行うため、市内・市外の農家や企業等に受け入れていただいています。

26年9月の三日間、教育部総務課で職場体験をしたのは久留米中学校2年生の大山清実広（すみひろ）さん。午前8時30分から午後5時まで、資料作りに活躍してくれました。その多忙ぶりは大山さんの日誌から伝わります。

【緊張の一日目】カウンターに「職場体験実施中」のポスターを貼（は）ってもらい、ワイシャツの袖にも「職場体験実施中」のワッペンを付ける。午前中は全国と市の「学力調査結果」を印刷して綴じる作業。チャイムが鳴り昼休みだと思ったら、照明が消え真っ暗になった。昼休み中は節電するそう。昼食後、新聞を読んだ。午後1時、東京都や他の区市町村から集まる文書を取りに行き、課ごとに仕分けした。続きの資料を印刷していると、他の課の方が「印刷機は調子いい？」などと声をかけてくれた。来年の教育委員会だよりに、自分の職場体験談が載ることになり、wordを習って作成する。5時、どうにか終了。昼休み以外、職場の皆さんは休憩していなかった。疲れないのかな。ほくは少し疲れた。

【調子が出てきた二日目】昨日印刷した山積みの資料を綴じる。昼食後、学校に提出する実習日誌を記入。午後1時、交換文書を一人取りに行き、課ごとに仕分け。報告書の発送作業や今日の仕事内容をwordで作成。5時になり帰宅するように言われたが、パソコンを使うのは楽しかったので、きりのいいところまで続けた。今日もたくさん

て疲れたが、終わった時は達成感を感じ、気持ち良かった。

【あつという間の三日目】今日も資料を印刷して綴じる。量は今までで一番多いが、印刷と製本には慣れた気がした。学校の実習日誌を記入。学校で職場体験の発表用に使う、教育委員会だよりや奨学資金のパンフレットをもらった。昼休み。今日は皆さんと一緒に弁当を食べた。ほくの大好きなものが入っていて、元気が出てきた。食後、新聞を読んだ。どこかの学校で命についての授業が行われたという記事を、じっくり読んだ。午後1時、交換文書を取りに行き、仕分け。2時、教育委員さんに届ける書類を持ち、市役所の車に乗った。市役所に戻ってからは学校の宿題である、職場の方へのインタビューをする。仕事を選んだ理由やこの職業の素晴らしいところなどを聞いた。5時、終了。カウンターのポスターをはがした。貼ったのは三日前だがだいたい前のことのように。この三日間でたくさん学んだ。仕事や社会の中での挨拶や言葉遣い。ほくたちが学校生活を元気で楽しく過ごせているのは、たくさんの方の職員の方が市役所で仕事をしてくれているからこそだと感じた。



職員から仕事の説明を受ける大山さん